

知的障害や発達障害を理解するための研修

参加者募集のご案内

現在、障害に関する正しい知識と対応方法を学ぶことで、差別や偏見を減らしていくためのプログラムの開発研究を行っています。その一環として、播磨地域福祉サービス第三者評価機構と共同で、「知的障害」理解促進研修を企画しました。研修に参加し、参加前後で実施するアンケートにご協力いただける研究協力者を募集します。

障害者差別解消法がはじまり、差別防止の啓発活動の促進が求められています。スタッフの人材育成や、地域での啓発活動の参考にこの機会をぜひご活用ください。

1 対象者

2日間の研修に参加できる方であれば、誰でもご参加いただけます。

2 協力内容

研修会への申し込みを持って、研究への賛同が得られたものと理解し、研修前に研究趣旨及びアンケート一式を送付させていただきます。アンケートの記入は約15分です。また、同様のアンケートを2回実施します。実施時期は、参加する日程で異なります。また、アンケートは自由意志で協力し、同意いただいた方のみをお願いいたします。

2 研修開催日時・場所及び募集人数

A 日程 10時～16時30分	B 日程 10時～16時30分	募集人数
1日目：2月20日（月） 姫路市市民会館第1教室	1日目：3月9日（木） 姫路市市民会館第3会議室	各日程とも 30人
2日目：2月28日（火） 姫路市市民会館第1教室	2回目：3月15日（水） じばさんビル502会議室（予定）	

*各日程とも、2日間の研修で10時～16時30分です。どちらか選んでください。

*研修内容については裏面に記載しています。

3 開催場所 姫路市市民会館・じばさんびる他

姫路市市民会館(〒670-0015 姫路市総社本町112番地) 姫路駅徒歩11分

じばさんビル(〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町123番) 姫路駅徒歩1分

4 参加費 参加費無料（*科学研究費補助金）の助成を受けて実施しています

5 申込み方法 裏面の参加申込書を 1月20日（金）までにFAX、メールまたは郵送などでお申込みください。（定員に達した時点で受け付け終了します。）

研修講師

河原 正明 (播磨地域福祉サービス第三者評価機構 理事長)

米倉裕希子 (関西福祉大学発達教育学部, 評価員)

研修の概要

1 目 目	知識・情報	講義：「障害」を考える話 基本的な障害理解として、ICF（国際生活機能分類）を学びます。
	対処方法	演習：知的障害の世界を知る 知的障害者の気持ちを理解することで、少しでも対応が変わります。
2 目 目		対処方法
	サポート	演習：人や機関とつながる いろいろな職種、いろいろな専門機関を知れば、仕事がもっとおもしろくなります。

【ご連絡・お問い合わせ先】

関西福祉大学 発達教育学部 准教授 米倉裕希子 〒678-0255 赤穂市新田 380-3 TEL： 0791-46-2525 (代) FAX： 0791-46-2526 (代) E-mail： yonekura@kusw.ac.jp	特定非営利活動法人 播磨地域福祉サービス第三者評価機構 理事長 河原 正明 〒670-8501 姫路市安田四丁目 1 番地 姫路市役所北別館 3 階 TEL・FAX： 079-283-3883 E-mail： harima-3@h-294.com
--	--

----- きりとり -----

知的障害や発達障害を理解するための研修 参加申込み

関西福祉大学 発達教育学部 米倉裕希子宛 FAX 番号 0791-46-2526

フリガナ		事業種別	
事業所名			
住所	〒 -	連絡先電話	() -
フリガナ		希望日程 <input checked="" type="checkbox"/> をいれる	<input type="checkbox"/> A 日程 (2月20日、2月28日)
申込者氏名			<input type="checkbox"/> B 日程 (3月9日、3月15日)
			<input type="checkbox"/> どちらでもよい

*上記の内容を記入いただき、メールまたはFAX（送信票などは不要です）でお申し込み下さい。

*研修会への申し込みを持って、研究への賛同が得られたものと理解し、研究趣旨及びアンケート一式を記載住所へ送付させていただきます。研修初回にご持参ください。お一人1枚お送りください。